

第4回 市民運営協議会（男女共同参画センター横浜北）	【開催日】 2019年7月5日（金）
【議題】 2年間の振り返りとまとめ	
<p>【説明】</p> <p>第4期市民運営協議会の第1回から第3回までの内容について振り返りをした後、委員の方々から「地域の中の男女共同参画センター」、「活動から見える男女共同参画」というテーマでご意見、ご提案をいただきました。</p>	
<p>【意見交換の概要】</p> <p>各委員より、地域の中での男女共同参画センター、自分たちの活動から見える男女共同参画についてお話しいただきました。男女共同参画センターは様々な人、団体が集まる施設であるため、集まった人や団体をつなげるようなハブ機能が備わっていると良いというご意見が多くありました。</p> <p>【要旨】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画センターで子育て座談会を実施したとき、座談会に参加したことで夫が初めて妻が困っていることに気付いたという話があった。そのような場が開催できたことに意味があったと思う。 ・男女共同参画センターの役割は重要だと感じている。その役割をどのようにすれば多くの人に知ってもらうことができ、必要な人に情報を届けることができるのか。そこが課題だと感じている。 ・地域で活動をするためには、相互理解がとても大切である。自分たちのことを知ってもらうことも大切であるし、こちらが地域のことを知ることも大切である。 ・男女共同参画センターは多くの人・団体が集まる場であるため、人や団体をつなげるハブ機能が備わっていると良い。 ・外国籍のお母さんたちの多様なスキルを活かされると、自分が地域で役に立っているという実感になり、居場所にもなる。男女共同参画センターが地域住民の力を地域に還元できる場となると良い。 ・今回の運営協議会に関わったことで、自分たちの運営している施設で、子育ての女性に対して情報を発信することができること気付くことができた。 ・男女共同参画センターに行けば様々な問題の解決のきっかけとなるよう、他の施設との連携をしていくと良いと感じる。スタッフが地域に行くこともできると良い。 ・イベントを開催し、その中で日本人の男性が海外の男性の行動を見て学ぶ機会があった。日本人が海外の子育て方法などに触れるようなきっかけがあると良い。 ・福祉の現場では、地域のお祭りやバザーなどに出て行くきっかけがあるが、男女共同参画の分野はなかなか広めていくことが難しいと感じる。 ・自分の身近な人でも、自分たちがやっていることを知らないということもあるので、HPなどで情報を伝えるだけではなく、実際に会ってコミュニケーションを行うことが大切だと感じている。 ・ハローワークでは名前が変わってから20年ほど経過し、やっとイメージがかわってきたと感じている。現在では区役所と協定を結び、ジョブスポットという形で連携をはじめ、多くの人に伝えることができるようになってきている。 	
<p>【特記事項】</p> <p>特になし</p>	